



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

11月の行事予定

日	曜日	行事	校時 時間割変更等	学食
1	月	県民週間(～11/7) 全校朝会	5分遅	○
2	火	金曜授業		○
3	水	文化の日		×
4	木	週番引継会		○
5	金	文化講演会(午後:川商ホール) 火⑤～火⑦の授業		×
6	土			×
7	日	第2回実用英語検定(二次)		×
8	月	学年朝会(2年) いじめ問題を考える週間(～11/14) いじめ問題を考えるLHR	5分遅	○
9	火	SC来校(13:30～見玉先生)		○
10	水	学校安全の日		○
11	木	3年実力考査(1日目) 2年60鶴セミナー 週番引継会		○
12	金	3年実力考査(2日目) ロードレース(1・2年)		×
13	土			×
14	日			×
15	月	学年朝会(1年) 集団読書(1・2年)	5分遅	○
16	火	教育相談①	45分	○
17	水	教育相談②	45分	○
18	木	教育相談③ SC来校(13:30～大島先生)	45分	○
19	金	教育相談④ 週番引継会 ストレスマネジメント(1年)	45分	○
20	土	土曜授業(1,2年授業日) 水④～水⑦の授業		×
21	日			×
22	月	教育相談⑤ 学年朝会(3年) 中間考査・卒業考査時間割発表 火曜授業	5分遅 45分	○
23	火	勤労感謝の日		×
24	水	教育相談⑥	45分	○
25	木	教育相談⑦ SC来校(13:30～見玉先生)	45分	○
26	金	中掃除 週番引継会 ストレスマネジメント(1年)	午後 10分遅	○
27	土			×
28	日			×
29	月			○
30	火	中間考査・卒業考査(1日目)	考査	×

↑

発行時の予定です。変更があるかもしれません。

突然だが、10年後の自分を思い描ける人は何人いるだろうか。どこに住み、どんな仕事をしていて、年収がいくらで、家庭環境は？。仕事はもろろん、進学先も決まっておらず1年生にいたっては文系も理系も決まっていない。そんな中で具体的な将来像を描くのは難しいだろう。私はいくつか、10年後はだいたい分かる。おそらく教員を続けているだろうし、収入もそんなに劇的には増えていないだろう(涙)。妻に愛想をつかされていなければ結婚生活も続いているだろうが、さすがにもう子供は増えていないだろう。家もおそらく今の家に住んでいる。これが君たちと私たち世代との決定的な違いだ。私の世代では何となく将来が見えているが、君たちの将来は不確かだ不安定なのだ。それは可能性の幅が

大きいということであり、在るべき自分を定める決定権がまだ手中にあるということでもある。でもそれは時に君たちを不安にさせる。何が正しいか分からない。だから進路に悩む。在るべき自分の姿に悩む。そんな中、大人が「こうあれ」ということを押し付けられよう。不愉快なのは当然だ。では、なぜ大人はそんな君たちへ「鶴丸生」という姿を求めようのだろうか。私が全ての大人の考えを代弁するのは荷が重いのだから、ここからは私見ということにしてお

君はなぜ鶴丸に入ろうと思ったか思い出して欲しい。進学実績が良かったから、勉強する環境が整っているから、校風が自分にあっているから、部活動が魅力的だったから。もしもかしら好きな人が進むからという理由もあつたかもしれない、それもいい。でも多くの人は、鶴丸の物的、人的環境あるいはそれまでの実績に魅力を感じて入学を決めたのではないか。この広い意味での「環境」に魅力を感じて入ることはそう遠くない理由となっている。ではこの「環境」は誰によって醸成されてきたのか。聡明な君たちならもう分かるであらう。そう、これまでの鶴丸を担ってきた先輩たちだ。今年の生徒総会で議論して

くれたのと同じように、時の「鶴丸生」たちがよい学校、良い環境にするために自分たちはどうあるべきかという課題に対して、真摯に向き合い、積み上げてきた実績こそが、伝統であり、今ある「環境」だ。環境は人を育てるといふ。同時に人が環境を育てるのも真理である。そして大事なことは、先輩たちが紡いできた環境の恩恵を享受した者には、次世代へつなぐ義務がある。それを望む、望まないは抜きにして、その環境におかれた者の使命だ。君たちがあこがれた鶴丸をより良い鶴丸にして次世代につなぐことが求められているのだ。この辺りのことが今の君たちには理解しにくいかもしれない。理解できない人は、43歳のおじさんがそんなこと言ってたなあ。く

「鶴丸生」とは

理科 大倉一也

に留めておいてほしい。きつといつか分かる日が来る。鶴丸がどういう環境の学校で在るべきかを考えるという事は、その構成員である君たちがどのような自分で在るべきかを考えることに等しい。「鶴丸生」とは他の誰でもない、君たちそのものだ。それに向かい、真剣に考えてほしいから、私は「鶴丸生」というワードを使っている。今日もがんばれ！「鶴丸生」！

芸術の秋到来

第73回文化祭



10月19日(火)川商ホールで第73回文化祭が行われました。今年のキャッチフレーズは、「28R佐々木駿さんが考案した「鶴丸」になりました。開会行事では、生徒会執行部が、コロナ禍前の文化祭の流れを1・2年生に伝え来年に繋ぐ意図をもって動画を作成しました。各クラス毎のダンス(クラス発表に相当)、先生方のダンス(職員合唱等に相当)、文化部の紹介(展示の部に相当)、文化祭実行委員の紹介など工夫を凝らした映像でした。映像から飛び出してきてきたかのようにMCが登場し、軽妙なトークで文化祭が始まりました。多くの生徒が楽しみにしている恒例の「からいも標準語講座」を上映した放送部、「応援」をテーマに幻想的なBGMにのって力強い書き上げた書道部、自作のシナリオに思いを込めた熱量のある演技を見せた演劇部、踊りと音響と照明が一体となったポップなステージを繰り広げたダンス部、透き通るような美しい声で響きで魅了した音楽部、感情豊かに歌曲を歌い上げた上村英治先生の独唱、様々な楽曲と演出で会場を盛り上げた吹奏楽部、その他、ESS部のスキットや3年生高山幸太さんのギターの弾き語りなど、中身の濃い4時間があったという間に過ぎいきました。閉会式では東京オリンピック讃歌の演奏、演劇団が紹介され、盛大に幕を閉じました。



ESS部



上村先生



ダンス部



書道部



放送部



高山さん



吹奏楽部



音楽部



演劇部



選挙管理委員会による投票用紙の回収



集約した意見をタブレットで送信

10月20日(水)後期生徒会長選挙と生徒総会が行われました。例年ならば、全校生徒体育館での実施となりますが、今年度も昨年引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、各学級で放送を通して行われました。生徒会長には、前期に引き続き、28R宮里慈恩さんが承認されました。生徒総会では、校内放送による進行で、第三号議案「これからの鶴丸を考える」について学級で話し合いが行われました。学級の意見は、タブレットで送信したものを生徒会執行部が集約し、それをもとに会を進めるなど新しい取組がなされました。



ラプソディー・イン・ブルーの演奏



愛唱歌「かぜになれ」の演奏と歌唱

10月26日(火)宝山ホールで「三年生を激励する会」が開催されました。今年の芸術鑑賞の部は、県内在住のアーティストの方々と結成された「宝山アンサンブル」による演奏会となりました。有名曲や日本民謡メドレーの管弦楽演奏、バリトン独唱、ソプラノ独唱、本校65回生濱田千幸さんのピアノ独奏やピアノと管弦楽のピアノ演奏など多様な音楽の魅力を感じました。さらに、宝山アンサンブルと本校吹奏楽部・音楽部とのコラボ演奏もあり、迫力のあるサウンドや歌と楽器が織りなす美しい響きを味わうことができました。その後、1・2年から3年生への「激励カード」が贈呈され、宝山アンサンブルの伴奏で三激会愛唱歌「かぜになれ」が歌われました。演奏者も会場の生徒たちもそれぞれが音楽を楽しんでいました。

三年生を激励する会